



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社  
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰 TEL 042-546-1161  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,009	△49.7	△219	—	△171	—	△163	—
25年3月期第1四半期	7,975	167.0	621	—	603	—	435	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △152百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 407百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△18.30	—
25年3月期第1四半期	48.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,722	51.4	10,806	50.9		
25年3月期	21,379	50.9	11,047	51.4		

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,660百万円 25年3月期 10,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	△35.9	100	△72.0	70	△76.0	40	△79.5	4.48
通期	17,000	13.0	800	109.6	750	140.9	400	106.2	44.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	9,674,587株	25年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	755,317株	25年3月期	755,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	8,919,270株	25年3月期1Q	8,919,335株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の住宅市場や個人消費が好調に推移するなど景気回復が見られますが、欧州では財政問題が長期化し景気後退局面が続いており、中国や新興国では欧州景気の影響や個人消費の低迷等により高い成長にも陰りが出ております。

日本経済においては、金融・財政政策による円高の是正や株価の上昇により景況感が改善に向かい、経済指標においても持ち直しの兆しを見せております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、緩やかながらも拡大し続けるアジア地域を中心に経営資源を集中し、顧客ニーズをとらえた付加価値の高い装置の開発に注力し営業展開を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高40億9百万円(前年同四半期比49.7%減)、営業損失2億19百万円(前年同四半期は営業利益6億21百万円)、経常損失1億71百万円(前年同四半期は経常利益6億3百万円)、四半期純損失1億63百万円(前年同四半期は四半期純利益4億35百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、UVキュア装置や搬送装置等の拡販に努めたものの、パソコンからウルトラブック・タブレット端末等への移行によりHDD需要が停滞した影響が大きく、業績は低調に推移しました。

半導体関連装置分野では、パソコンやデジタル家電向けの需要が低迷し、設備投資が先送りの状況にあり、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末用の中型プラズマエッチング装置やアニール装置の拡販により、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、電子部品・自動車関係用加熱装置及び液晶用加熱装置が一部先送りとなり、業績は低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、高効率パネル用装置の需要が新規投資に繋がらず抑制が続いており、業績は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は37億36百万円(前年同四半期比51.9%減)となり、セグメント損失は1億14百万円(前年同四半期はセグメント利益7億41百万円)となりました。

## (クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野では、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい状況でしたが海外の営業強化を図り、業績は順調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は2億72百万円(同34.0%増)、セグメント利益は29百万円(同135.0%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は162億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億96百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少25億78百万円、仕掛品の減少10億54百万円であり、受取手形及び売掛金の増加29億17百万円であります。固定資産は44億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少しました。その結果、総資産は207億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億56百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は65億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億28百万円、短期借入金の減少98百万円、賞与引当金の減少54百万円、1年以内償還予定の社債の減少53百万円であり、未払費用の増加88百万円、前受金の増加75百万円であります。固定負債は33億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億24百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少2億20百万円であります。

その結果、負債は99億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は108億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少2億52百万円であります。

この結果、自己資本比率は51.4%(前連結会計年度末は50.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は20,191千円、営業利益は21,181千円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,474千円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は22,710千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,041,953	5,463,191
受取手形及び売掛金	3,740,033	6,657,293
有価証券	854,354	902,335
商品及び製品	140,322	189,130
仕掛品	3,503,544	2,449,256
原材料及び貯蔵品	299,348	300,529
繰延税金資産	203,027	227,383
その他	98,501	95,059
貸倒引当金	△2,167	△1,501
流動資産合計	16,878,917	16,282,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,262,950	2,262,302
減価償却累計額	△1,687,877	△1,701,526
建物及び構築物(純額)	575,072	560,776
機械装置及び運搬具	224,700	209,103
減価償却累計額	△198,563	△192,253
機械装置及び運搬具(純額)	26,136	16,849
工具、器具及び備品	1,579,778	1,580,423
減価償却累計額	△1,246,482	△1,285,435
工具、器具及び備品(純額)	333,296	294,987
土地	2,374,622	2,374,622
リース資産	69,051	67,290
減価償却累計額	△43,641	△46,045
リース資産(純額)	25,410	21,245
建設仮勘定	538,671	554,352
有形固定資産合計	3,873,209	3,822,834
無形固定資産		
のれん	53,190	46,411
ソフトウェア	48,240	44,840
リース資産	18,379	17,326
電話加入権	13,562	13,562
無形固定資産合計	133,372	122,140
投資その他の資産		
投資有価証券	152,649	152,128
長期貸付金	230	230
繰延税金資産	203,920	199,716
長期滞留債権等	68,395	81,763
その他	146,900	153,229
貸倒引当金	△78,395	△91,741
投資その他の資産合計	493,701	495,327
固定資産合計	4,500,282	4,440,302
資産合計	21,379,200	20,722,981

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,769,362	4,640,704
短期借入金	1,168,483	1,070,422
1年内償還予定の社債	106,510	53,450
リース債務	17,051	13,015
未払法人税等	18,135	13,063
賞与引当金	138,108	83,869
製品保証引当金	29,454	20,497
未払費用	285,208	373,532
前受金	87,971	163,196
その他	156,547	155,222
流動負債合計	6,776,834	6,586,972
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,741,768	1,520,855
リース債務	29,046	27,480
繰延税金負債	66,964	67,753
退職給付引当金	676,092	671,273
役員退職慰労引当金	40,595	42,335
固定負債合計	3,554,467	3,329,697
負債合計	10,331,301	9,916,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	5,326,086	5,073,627
自己株式	△646,176	△646,176
株主資本合計	11,018,866	10,766,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,155	19,626
為替換算調整勘定	△144,983	△125,516
その他の包括利益累計額合計	△128,828	△105,890
少数株主持分	157,860	145,793
純資産合計	11,047,898	10,806,311
負債純資産合計	21,379,200	20,722,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,975,250	4,009,625
売上原価	6,837,837	3,658,084
売上総利益	1,137,413	351,541
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	207,051	234,505
賞与引当金繰入額	26,025	27,971
福利厚生費	8,690	15,242
賃借料	19,721	19,064
業務委託費	14,276	11,477
研究開発費	59,711	44,993
減価償却費	22,964	37,707
その他	157,539	180,226
販売費及び一般管理費合計	515,980	571,189
営業利益又は営業損失(△)	621,433	△219,648
営業外収益		
受取利息	931	926
受取配当金	979	1,068
為替差益	—	49,363
受取賃貸料	2,571	2,954
受取保険金	3,093	—
その他	3,582	4,129
営業外収益合計	11,159	58,442
営業外費用		
支払利息	10,495	8,976
為替差損	14,983	—
ファクタリング料	55	25
持分法による投資損失	512	153
その他	3,351	1,035
営業外費用合計	29,398	10,190
経常利益又は経常損失(△)	603,193	△171,396
特別利益		
固定資産売却益	—	142
特別利益合計	—	142
特別損失		
固定資産除売却損	4,528	680
特別損失合計	4,528	680
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	598,665	△171,934
法人税、住民税及び事業税	156,743	23,761
法人税等調整額	2,668	△20,191
法人税等合計	159,412	3,569
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	439,253	△175,504
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,298	△12,238
四半期純利益又は四半期純損失(△)	435,955	△163,266

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	439,253	△175,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,673	3,641
為替換算調整勘定	△27,161	19,467
その他の包括利益合計	△31,835	23,109
四半期包括利益	407,418	△152,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,276	△140,327
少数株主に係る四半期包括利益	3,141	△12,067

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,771,572	203,677	7,975,250	—	7,975,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,771,572	203,677	7,975,250	—	7,975,250
セグメント利益	741,639	12,428	754,068	△132,635	621,433

(注) 1. セグメント利益の調整額△132,635千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業用エレクトロ ニクス関連事業	クリーニング関 連その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,736,731	272,893	4,009,625	—	4,009,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,736,731	272,893	4,009,625	—	4,009,625
セグメント利益 又は損失(△)	△114,537	29,212	△85,325	△134,322	△219,648

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,322千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(在外子会社の収益及び費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社における海外売上高の重要性が増してきていること、また昨今の著しい為替相場の変動に鑑み、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させると判断されたため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。